

1. 外国籍生徒の話した時間：25 秒 / 10 分
2. 話しかけるまでの時間：1 分 50 秒
3. 話題：検証中（10 分間）に外国籍生徒と日本国籍生徒の間で行われた会話の内容
  - お互いの自己紹介
  - 外国籍生徒の出身地について
  - 好きな日本文化について
  - 好きな食べ物について
  - 日本語が話せるかどうか
  - 好きなスポーツについて

4. 外国籍生徒へのアンケート結果

A) 感想

うまくいったと思う。

B) 日本国籍生徒とスムーズに会話することはできたか

いいえ。

C) なぜそう思うのか

自分の日本語の知識がないから。

D) 日本国籍生徒の印象

回答なし

E) どうしたらこの機会をもっと楽しめたと思うか

日本語を勉強すること。

F) 日本国籍生徒と会話する際に障壁だと感じたこと

言語の壁。

G) 違う言語を話す人と会話するときに大切だと思うこと

お互いを理解すること。

5. 日本国籍生徒へのアンケート結果

A) 感想

・話すことが思い浮かばなくて最初は沈黙だったけど、すこしずつ話せるようになった。

・10 分は短かった。みんないきなりでドギマギしてるのかなので、日本人同士だったとしても、気まずいのが普通だと思う。現実でもすぐに話しかけることは難しいと思う。はじめて会う人と顔合わせるとはドキドキして楽しい。

・難しかったです。まず日本人の方とあんまり馴染めなかったっていうのが 1 番

あったかなって思います。もうちょっと積極的に話せば良かったかなと思います。

- ・オンラインというのが難しいと感じた。

- ・転入生とどんな話をしたら盛り上がるかあまり考えていなかった(話題を何にするか考えていなかったの)。スムーズというほどではなかったが、多少話ができただけれど、実際の会話でも話しかけるときに全て話題を考えた上で話しかけることはないのだからこういうものなのかもしれないと感じた。また、文化の違いを考えてあまり日本人同士でしか通じない話題(テレビなど)は避けようと思ったが、その結果次何聞く?と日本人生徒同士で目の前でべらべらと日本語で喋っていたので正直話を次々展開することはできなかった。

## 6. 観察

日本国籍生徒は英語がとても話せるわけではないが、外国籍生徒が楽しんでくれるように簡単な英語を使って質問をしていた。しかし、一度質問した後や英語で相槌を打った後に日本語で話してしまい、そのまま長く会話を続けるのが難しそうに見受けられた。けれども、日本国籍生徒で「まずは名前から聞きたいね」などとグループ内で相談してから頑張って伝えようとしていた。そのため、最初あんまり笑っていなかった外国籍生徒も終わりになるにつれて笑っているように思えた。